

SHONAN MAIL

2026.FEB/VOL.222



医療法人徳洲会
湘南鎌倉総合病院



SHONAN MAILのご意見・ご感想はこちら



SHONAN MAIL 2月号 2026年1月27日 発行 広報室

まちがいさしの答え

①赤鬼の持っている金棒 ②ヒイラギイワシの向き ③手前の落ちている豆の形 ④屋根の色 ⑤手前のくまが鬼の被り物をしている

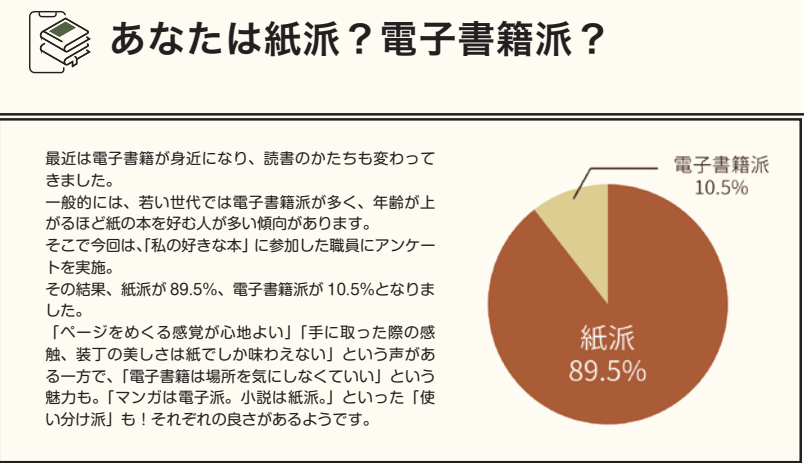
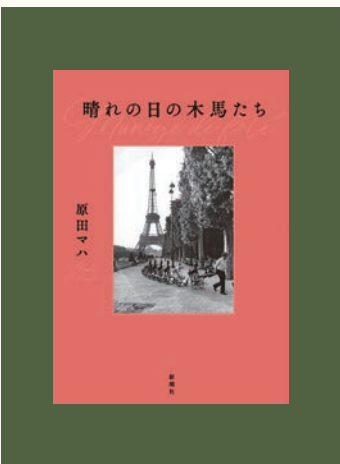


厨房の朝。

厨房には、今日もいつもの時間が流れています。
火加減を確かめ、音に耳を澄まし、手を動かす。
決められた工程をたどりながら、
一つひとつを丁寧に仕上げていく手仕事で、
この場所のリズムをつくり、
病院の一日を静かに支えています。

私の好きな本

人生の節目で出会った本、元氣や勇気をもらった物語、そっと心に寄り添ってくれた一冊。職員それぞれの思いが詰まった「好きな本」をご紹介します。



1 吉野源三郎『君たちはどう生きるか』／岩波文庫
自分の人生における「綺麗なもの」道徳指針は、全てこの本に由来すると言えらるくらいには、示唆に富んだ書籍だと思っています。



内科専攻医
朝倉 一

2 小堺友美『親子が一生モノの「安心」でつながる タッチケアの魔法』／日経 BP
親子のタッチに苦手意識を持っていた私が母となり、ありのままの自分と子を愛すること、タッチの温かさこそ素晴らしい気づけました。



血液浄化室看護師
中島 さつき

3 荻原浩『明日の記憶』／光文社文庫
50歳で若年性アルツハイマーと診断された男性が、失っていく日々を描く物語。最後に負けず「共闘」する姿に心打たれます。



リハビリテーション部
塚田 浩希

4 原田マハ『晴れの日の木馬たち』／新潮社
どんな状況下でも好きなことを人生の真ん中に置き、本を書き続ける主人公を書いた大河長編、第一部。進み続ける前向きなパワーをくれる作品です。



消化器病センター
佐々木 亜希子

5 ヨシタケシンスケ『りんごかもしれない』／フロンテックス
ヨシタケシンスケさんの、絵本デビュー作。物事を多角的にみる視点が視野を広げ、子供も大人も楽しめる絵本です。



外来看護師
入澤 明子

6 川口俊和『コーヒーが冷めないうちに』／サンマーク出版
「当たり前」の時間は、当たり前じゃない。限られた時間の中で想いを伝える大切さを教えてくれる一冊。後悔や優しさが丁寧に描かれ、心が温かくなります。



EHC病棟看護師
芦田 夏未

7 乙野四方字『君を愛したひとりの僕へ』／早川書房
同時刊行の二冊で読む順に印象が変わる物語。どんな選択の結果も自分の道だと教えてくれ、軽い文体で一気に読める。記憶を消して再読したい作品です。



放射線部
羽染 有花梨

8 山崎豊子『大地の子』／文春文庫
中国残留孤児の半生を描いた物語です。言語や文化の差異を克服することの難しさ、大切さを教えてください。仕事で悩んだ時に読み返しています。



国際医療支援室
松尾 剛弥

9 ひすいこたろう『あした死ぬかもよ？人生最後の日に笑って死ぬ27の質問』／ディスカヴァー・トゥエンティワン
「死」への印象を180度変え、新しい自分に生まれ変わるきっかけを与えてくれる本です。人生の最期を肯定的に迎えたい人へ。



栄養管理室
古旗 省吾

10 湘南 ER『湘南 ER が教える 大切な人を守るための応急手当』／KADOKAWA
「しゃっくりを止める方法、知ってる？」すり傷から心肺停止まで、応急手当を救急医が優しく伝える本。大切な人を守る一歩になりますように。



救急総合診療科
関根 一朗

11 吉野敬介『今、頑張れない。ヤツは一生頑張れない。』／世界文化社
迷っているときにこの本を読み、色々言い訳して行動に移せなかった自分の心に響きました。受験生向けですが、今も時折読み直しています。



品質管理室
芳野 良平

12 原田マハ『本日は、お日柄もよく』／徳間文庫
鎌倉が舞台となっていて面白いです。数々のスピーチにも感動します。救急搬送先がないという展開に「湘鎌に運んで！」とツッコミたくなる場面も。読後感がとても爽やかです。



血液浄化室看護師
愛甲 美穂

13 マーガレット・ミッチェル（著）・鴻巣友季子（訳）『風と共に去りぬ』／新潮文庫
南北戦争を背景に、すべてを失った大農園の娘が、本当に大切なものに気づき復興を誓う物語。現代の戦争や災害にも通じると感じています。



放射線科
長谷川 久美

14 安斎勇樹『冒険する組織のつくりかた』／テオリア
役職者としての組織のまともな方、職員一人ひとりのキャリアデザインへの考え方が参考になりました。病院は社会的使命を、個人は自己実現を追求する重要性が語られています。



リハビリテーション部
桑島 泰輔



医療が地域で つながるということ —さくらネットが描く、地域医療のこれから。—

病院は、具合が悪くなったときに行く場所。そう思われることが多いかもしれません。けれど、医療は本来、もっと日常のそばにあるものです。診察室の外にも、病院の外にも、人の暮らしは続いていきます。年齢を重ね、生活のかたちは少しずつ変わり、その変化に寄り添いながら支えることも、医療の大切な役割です。私たちは、医療が地域でどうあるべきかを見つめ直すため、日本の「これから」を先取りした地域である新潟県 佐渡島を訪れました。人口減少と急速な高齢化という課題のなかで、医療と暮らしをどのようにつなぎ、地域を支えていくのか。その答えを探す旅の先に、いまの鎌倉、そして未来の医療の姿がありました。

佐渡は近未来の鎌倉？

新潟港からフェリーで約2時間半。東京都のおよそ1.5倍の広さをもつ佐渡島は、日本海最大の島です。世界遺産の佐渡金山や、特別天然記念物であるトキが生息する島として知られています。一方で、人口は減少を続け、高齢化が急速に進んでいます。島の高齢化率は全国でも高い水準にあり、限られた医療資源で島全体の暮らしを支えていかなければならない状況にあります。鎌倉市もまた、高齢化が進む地域です。この先、医療や介護をどのように支えていくのか——「治療が必要になってから病院に行く」のではなく、暮らしの中で変化に気づき、支え合える地域であること。佐渡で見た医療のかたちは、これからの鎌倉が向き合う未来を映し出しているように感じられました。



佐渡の取り組み

佐渡総合病院では、病院だけで医療を完結させるのではなく、地域全体で人の暮らしを支える取り組みが続けられてきました。その中心にあるのが、EHR※「さどひまわりネット」による医療・介護の情報共有です。病院、診療所、歯科、薬局、訪問看護、介護福祉施設——それぞれが持つ情報を、必要なときに、必要な人が確認できる。島という限られた環境だからこそ、「情報を島全体で活かす」工夫が積み重ねられてきました。近年では、こうした情報をもとに、体調の変化に早く気づくための取り組みや、高齢者の心身の衰えを捉える仕組みづくりも進められています。「悪くなってから治す」のではなく、「悪くなる前に気づき、支える」。その考え方は、佐渡の医療に静かに根づいていました。

※ EHR：電子健康記録

佐渡で行われている主な取り組み

- ・医療・介護の情報共有 (EHR)
- ・病床の一体的な管理 (開発中)
- ・看護業務量の可視化
- ・肺炎再燃リスクの予測
- ・フレイルの早期判定
- ・オンライン診療の導入 (一部実施)



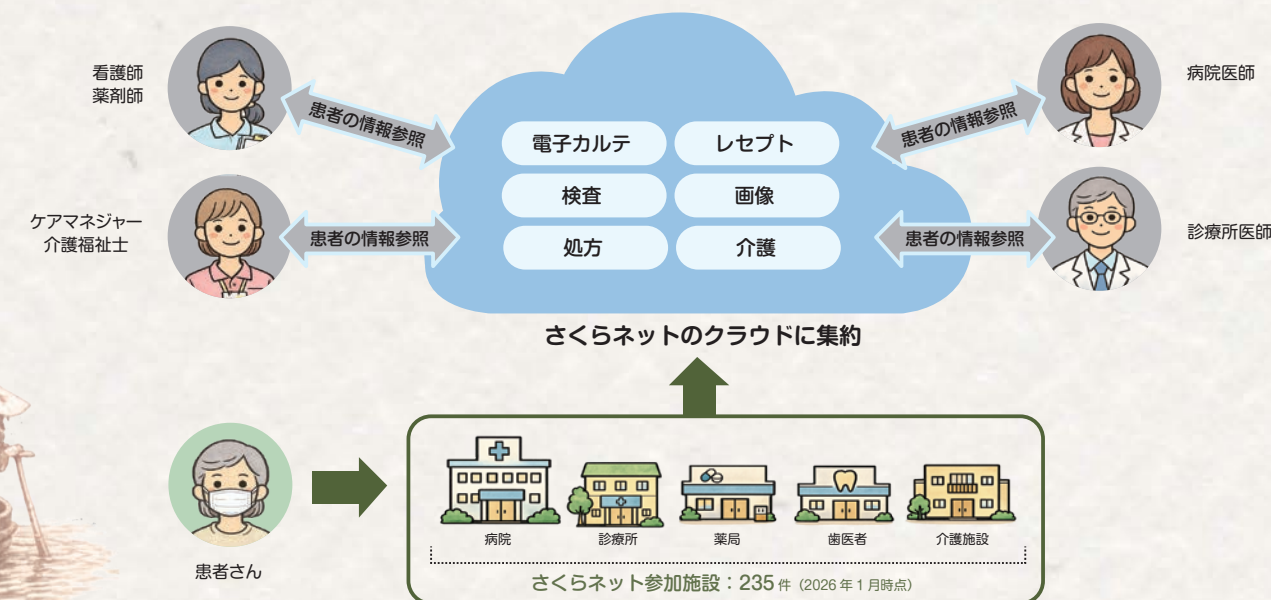
「医療は、病院の中だけで完結するものではありません。医療も介護も、みんなで支える仕組みが必要なんです。」と語る佐渡総合病院 佐藤院長。

湘南鎌倉総合病院のEHR「さくらネット」

湘南鎌倉総合病院では、地域医療と介護をつなぐ仕組みとして、EHR「さくらネット」を進めています。病院の中だけで情報を抱えるのではなく、診療所や薬局、介護の現場と情報を共有しながら、地域全体で患者さんを支えていく。佐渡で育まれてきた実践を学びながら、鎌倉という地域に合ったかたちで、医療と介護の連携を少しずつ広げています。さくらネットが目指しているのは、特別なことではありません。患者さんやご家族が、「何度も同じ説明をしなくていい」「離れて暮らしていても、安心できる」。そんな日常の中の小さな安心を、地域に増やしていくことです。

EHR (Electronic Health Record) とは

患者の生涯にわたる健康・医療情報を電子的に記録・管理・共有する仕組み（電子健康記録・生涯医療記録）のことを言います。異なる医療・介護事業所間で情報を共有し、より質の高い継続的な医療提供、効率的な情報活用を目指すもので、EMR（電子医療記録）を発展させた概念です。



医療が地域でつながる社会

医療は、病気を治すためだけにあるものではありません。人が、その人らしく暮らし続けるために、そっと支え続ける存在でもあります。佐渡で見た医療のかたちは、遠い島の特別な取り組みではなく、これから鎌倉で育っていく医療の姿でもありました。医療が地域でつながる社会。それは、どこか遠い未来の話ではありません。ここ鎌倉で、いま、少しずつ。人と人をつなぎながら、新しい医療のかたちが育ちはじめています。

簡単3ステップ

さくらネットへのご登録はこちらから



参加施設数 **235** 件 登録者数 **17,945** 人
(2026年1月時点)

なに食べる？

ちょっと一息、院内レストラン

お腹が空いたとき、ちょっと時間をつぶしたいとき...
湘鎌には自慢のレストランがあるんです！
人気メニューの一部をご紹介します！

人気
第1位

湘鎌おすすめ

濃厚担々麺

月間1,000食突破！不動の看板メニュー！
練り上げた白ゴマと白湯スープに上品な山椒の
香りが決め手！濃厚クリーミーと辛みのバラン
スが絶妙。迷ったらまずはこの濃厚担々麺をお
試しあれ！



人気
第2位

三元豚の

やわらかロースかつ

箸で切れるお肉の柔らかさ！
三元豚を使用した贅沢ロースかつは、口の中でお肉が
とろけるような柔らかさ！元気を付けたいときに食べ
たい一品。すりたての薫り高いゴマと芳醇なソースで
召し上がれ。

濃厚デミの

ふわとろオムライス

お子様から大人まで大人気！
ふんわりとろ〜り半熟卵と濃厚デミソースがか
かったオムライスも人気のメニュー。幅広い世
代に愛されるメニューです。



人気
第3位

Restaurant

ダイニング湘鎌 湘南鎌倉総合病院内 D棟1F

🕒 営業時間

	月～土	ラストオーダー	日・祝	ラストオーダー
カフェ	7:30～19:30	(19:00)	9:30～15:00	(14:30)
ランチ	11:00～17:00	(17:00)	11:00～15:00	(14:30)
ディナー	17:00～19:30	(19:00)	営業無し	

※17:00以降はディナータイム専用メニューとなります。
※仕入れ状況によりメニューが変更となる場合がございます。
※価格・最新情報は店頭でご確認ください。



ランチタイムメニュー

ボリューム満点！定食も見逃せない！



(左) 海老フライ定食 / ぷりぷりの大
きな海老が2尾！タルタルソースと
ソースをお好みで召し上がれ。(右)
唐揚げ定食 / もも肉とむね肉の二種類
を食べ比べ！食感の違いを楽しんで。
※季節や仕入れ状況によりメニューが
変動いたします
※ランチタイムのみ提供
※定食はご飯、味噌汁、小鉢付き

Desert

食事だけじゃない！ダイニング湘鎌自慢のスイーツをご紹介します



pancake

フルーツパンケーキ
フルーツたっぷり
お腹も心も満たされる！



Cake

ケーキ各種

日替わりでご用意しています。
スタッフにお尋ねください。



parfait

抹茶パフェ
濃厚抹茶ともちもち白玉の
甘い誘惑...



Anmitsu

あんみつ

ほっとする甘さの黒蜜を
たっぷりかけて。



Bread

焼きたてパン各種

毎日店頭で焼いています。
お昼過ぎには売り切れることも。

職員リレー

VOL.2

ひとりの紹介が、次の誰かにつながっていくリレー企画。
仕事に向き合う姿や、その人らしさをほんの少しご紹介しします。



総合内科 医師
前田 希世子
▶▶▶▶▶▶▶▶

出会いが変えた、総合内科医としての道

総合内科医として、主に入院中の患者さんの診療を担当しています。2023年11月に湘南鎌倉総合病院に着任し、現在3年目になります。以前は葉山ハートセンターで勤務しており、今も週に1回、外来診療のため葉山で患者さんを診ています。ご高齢の患者さんも多く、いくつかの病気を同時に抱えている方も少なくありません。特定の臓器だけを見るのではなく、「体全体を診る」ことが、総合内科の大切な役割です。医師を志したのは、医師の家系で育ったことがきっかけ。ですが医師としての道のりは決して一直線ではなく、外科や麻酔科を経験した後、しばらく医療の現場を離れた時期もあります。葉山に住むようになったことが転機となり、現在の内科統括部長・田中 江里先生との出会いにつながりました。内科を一から学び直し、患者さんとじっくり向き合う中で、「内科医はともやりのいのある仕事だ」と、今は実感しています。

「まず相談できる存在」でありたい

医療は、医師だけで成り立つものではありません。看護師さん、リハビリスタッフ、事務職員など、多くの職種が関わることで、患者さんの生活を支えています。だからこそ、「話しかけやすい雰囲気」を大切にしています。小さな変化や気づきを気軽に共有できることで、より安全で安心な医療につながると考えているからです。湘南鎌倉総合病院に来たばかりの頃は、病院の規模の大きさや環境の違いに戸惑い、正直つらいと感じる時期もありまし

た。それでも、少しずつ声をかけ合える仲間が増え、今ではチームの一員として自然に動けるようになりました。患者さんから「話を聞いてもらえて、気持ちが楽になった」と言ってくれたことがあります。検査や治療だけでなく、きちんと話を聞くことも、医療の大切な一部だと感じています。今後は、職種を超えた横のつながりを大切にし、より風通しのよい職場づくりに取り組んでいきたいと考えています。

オフの日もコミュニケーションは大事

休日は、ゆっくり寝て過ごすことも多いですが、美味しいものを食べに行くことも好きな過ごし方です。逗子や葉山、鎌倉のお店によく足を運び、そこで出会った常連さんとの何気ない会話も楽しみの一つです。自宅にはカラオケがあり、近所の友人を招いて“スナックきよこ”を開くこともあります。キーボードやミラーボールまである、少し遊び心のある空間です（笑）。仕事から離れた場所で人と向き合うことも、日々の診療で相手の話に耳を傾ける姿勢につながっているのかもしれない。



次のボタンを受け取ったのは…

病棟クラーク 齋藤 友希



病棟を支える頼もしい存在！

てきぱきとお仕事される姿が素敵です。

旬のひとさじ

VOL.2 春菊



garland chrysanthemum

香りを味わう、冬の名脇役。

独特の香りとほろ苦さが魅力の春菊。鍋料理の名脇役として知られていますが、実はさっと火を入れるだけでも、生のままでも楽しめる、使い勝手のよい野菜です。加熱すると苦みがやわらぎ、香りがふわりと立ち上がる一方で、生で食べれば、シャキッとした食感と爽やかな風味を味わえます。葉のやわらかい部分は和え物やサラダに、茎は刻んで炒め物や汁物に。部位ごとに使い分けることで、料理の幅がぐっと広がります。

今日の一品にいかが？

☒ 春菊としらすのごま和え
香りとコクが重なり合う、さっと作れる定番副菜。

☒ 春菊たっぷりの鶏団子スープ
体を温めたい日におすめのやさしい一杯。

βカロテンやカリウム、カルシウム、食物繊維が豊富。香り成分にはリラックス効果もあり、季節の変わり目の体調管理にも役立ちます。

栄養管理部 係長 古旗 省吾

徳洲会グループがフィリピン・
パンサモロ自治区保健省と覚書
を締結いたしました

徳洲会グループは2026年1月12日、フィリピンのパンサモロ自治区保健省との間で医療協力に関する覚書（MoU）を締結しました。本覚書は同地域の医療体制強化に向け、医療人材育成や病院運営ノウハウの共有など協力の可能性を探るものです。紛争の歴史を経て再構築が続く同自治区において、相互尊重に基づくパートナーシップの構築と持続可能な医療発展への貢献が期待されています。



左から：小林修三（医療法人徳洲会専務理事・湘南鎌倉総合病院院長）、Dr. Abdulhalik M. Kasim（パンサモロ自治区保健省・MDM, CESE Deputy General）

新春特別市民公開講座を開催
いたしました

1月17日に、毎年恒例の新春特別市民公開講座を開催しました。院長による講演では「未病改善」をテーマに、当院の地域に根差した医療の取り組みを紹介。その後の院内見学ツアーでは、陽子線治療施設およびBNCTを巡り、先端医療の現場をご覧いただきました。多くの方にご参加いただき、医療への理解を深める貴重な機会となりました。



1枚目：小林院長 特別講演の様子
2枚目：陽子線治療室 見学の様子

湘鎌公式ファンアプリ「カカリ
ンク」リリースのお知らせ

湘南鎌倉総合病院は、患者さんや地域の皆さまに病院をより身近に感じていただくことを目的に、公式ファンアプリ「カカリンク」をリリースしました。院内イベントや地域との取り組みの紹介をはじめ、病院の日常やさまざまな情報をアプリならではの切り口でお届けします。医療情報にとどまらず、人や地域とのつながりを大切にする本アプリを通して、病院をもっと身近に感じていただければ幸いです。

ご登録方法は
こちら



アプリの
ダウンロードは
こちら



もっと身近に
「カカリンク」



イベント案内、アプリ限定動画、その他
たくさんコンテンツをご用意していく
予定です。

ちがうのどーこだ？

全部で5つまちがあるよ。どこがちがうか、探してみよう！

答えは
裏表紙をチェック >>>

